

第 18 回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2021・1・20

出席者 会長 ○金子 副会長・理事長代行 ○河野
運営本部 ○清水 ○瀬戸口 ○若林 広報 ○土方 普及 ×堀川 ○竹村 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 ○若林 都下水連 ○堀尾
監事 ×嶋田 ○内木場
会計担当 ○石塚 ○菊地 ×堀川 ○安部 ○水野 ○河野 ×久野

河野副会長は ZOOM にて出席・堀川理事は都合により欠席 嶋田監事・久野委員は欠席連絡なし
監事・会計担当も出席とする。(運営規定第 2 条③適用)

議 題

A：報告事項

1. 小平市体育協会関係

- 1) 1月14日(金)連絡有
 - ・1月21日(金)開催の令和3年度第5回一般社団法人小平市体育協会代表委員会の開催中止について(通知)が有
 - ・中止の理由
新型コロナウイルス・オミクロン株の急速な感染拡大の状況を鑑み、皆様の安全安心を確保するため、大勢が一堂に会する場を設けないこととし、開催を中止とさせて頂きたいとのこと。1月13日(木)に開催された「第5回常任理事会・理事会」にて承認を頂いた。なお、会議でお渡しする予定の書類等は、後日郵送されます。

Q1→第16回理事会での質問事項である2022年度市報原稿締切情報は1月21日(金)の第5回代表委員会で開示の予定と回答を頂いた。第5回代表委員会は中止となりましたが、当日資料開示予定であれば資料だけは開示頂きたい。

A1→会議で渡される予定の書類等が、後日郵送されたら開示します。1月18日(火)時点未着

Q2→オミクロン株の急速拡大に伴い、小平市も確実に患者数が増えています。

今回の対策は東京都から発令された「オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応」期間：1月11日(火)～1月31日(月)がベースになっていると思います。

水協としては現時点で出来る事は、会議は「健康状態チェックリスト」・教室は「ガイドライン」遵守の徹底が必要と考えます。水協として情報キャッチと具体的な行動指針を示す必要はありませんか？

A2→1月19日(木)体育協会に確認 まん延防止が決定され、行政から連絡後対応する。まん延防止内容に沿って対応する。対応が決定したら、連絡がある旨確認した。来週になりそうです。

・行動指針について、必要なら今後検討していくこともあるかと思う。コロナ感染、変異等先が見えないのでなかなか難しい。

2. 東京都水泳協会関係 なし

3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

- 1) 2022年度予算見積書全体説明
→現時点での収支予算案及び運営本部からの資料にて説明を行った。
- 2) 水協 HP スタッフブログ定期更新
1月15日(土)内木場監事「富士山との思いで！」

2月から5月の担当は以下となっています。

- 2月：都育成事業特別委員会から鈴木聖香指導員へ変更
- 3月：市町村総体特別委員会 河野副会長
- 4月：マスターズ特別委員会 小柴正会員（金子会長フォロー）
- 5月：会議管理部門 丹羽正会員（若林理事フォロー）

3) 第17回理事会で説明頂いた各委員会からの2022年度予算案継続案件
〈会議管理部門〉

今後、欠席への議案書送付は行わず、水協HPへの公開で良いか検討をいただきたい。

Q→2022年度から適用ですか？2023年度総会から検討している。

A→2023年度総会から検討している。

Q→具体的方法を教えて頂きたい。2023年度から検討であれば2022年度総会時に事前にアナウンスしてもよいのではないかと？

A→欠席された正会員への議案書の送付については、正会員への義務である。その報告を、全ての欠席者にHPで済ませることは問題がある。配布の希望をとるなど配慮が必要である。

※本件は第17回理事会で欠席者への議案書未送付が提案されている。その時点での指摘なら理解出来るが具体的な展開になっての指摘は第17回理事会で行うべきである。協議事項とする。

〈普及委員会〉

- ① 4-6月期、9-11月期、1-3月期の3クールでの水泳教室の開催
- ② 2022年度卒業生を50名で想定し卒業記念品予算を計上
- ③ 成人・シルバー用スイミングキャップ20個購入予定

Q→2022年度教室は3か月教室と決定している。6年生が全ての教室へエントリー出来ない状況で、卒業記念品はどのタイミングで差し上げるのか？対象参加教室は1回でも教室参加したら対象なのか？成人シルバー用のスイミングキャップは2021年度2か月教室開催時の欠員募集時はお持ちのスイミングキャップで対応とした。

議論出来ない教室会員を正会員へのメリットで、会費口座振替や入会金なども含むのであれば検討の余地があるが内容を詳しく説明して頂きたい。

A→委員長が欠席の為、②③は継続審議

※ ②について、2022年度の3か月教室は、2021年度2か月教室と同様、コロナ禍による異例の教室であり、休会、異動、振替、割引等はない。また、ポイント制についても、実施していない。卒業記念品についても、6年生全員が均等に参加されることは不可能であり、コロナ禍の中、特別な教室であることから卒業記念品についても、他の制度同様実施しない意見あり。

③について、2021年度の2か月教室同様、2022年度3か月教室もキャップの配布はしない。
なお、キャップへの氏名記入は指導する意見あり。

Q→継続審議である教室会員への顧客番号や口座振替導入された場合の入会金の扱いはどの様に考えていますか？それとも継続審議はなしとしますか？

A→協議事項とする。

〈市町村総体特別委員会〉 収入：51,000円 支出：91,485円 支出合計：40,485円

- ① 増額は功労者表彰報償費
- ② 会場は町田との情報あり。バスを出さないと出場者はごく少数になると予想される。
バスを出すと最大57,300円増加、10万円前後の事業費となる
- ③ 水協の財政状況を考慮すると、今後も参加し続けるのか？疑問もある。
競技参加についてはマスターズに移行していく方針もありではないかと？

Q1→4月から新規正会員が加入予定なのでマスターズに移行するの意味は？

A1→市町村総体へ不参加となった場合に、マスターズ関連の競技会を紹介する。

Q2→行政側から参加要請はあるか？

A2→参加要請はない。参加していない市町村もある。

※参加要請までもなく、都民大会同様、ごく普通に参加要項が配布されています。

※本件は参加するかも含め継続審議

運営本部より

Q→提出された予算書（普及は2021年と同じとした）を合計すると約90万円の赤字
教室がどの程度の収益となるのか？全体で容認できる赤字額は？

A→運営本部（普及部分）で説明を行います、教室規模がどの程度になるかで違ってきます。

全体で容認できる赤字額については、今後の教室運営や協会運営の方向性を決めて頂かないと

コロナの影響は協会ではコントロール出来ません。清水が教室委員会の10年以上前から協会運営と教室運営について提言をしていたが方向性が見えないままコロナにより急激に協会運営と教室運営のかじ取りをするようになりました。

協会として今後の協会及び教室をどの様にしたいのか将来のビジョンを先に示して頂きたい。

4) 2月3日教室キャンセルによる返金（キャンセル教室は2月3日火曜日ジュニア）

金曜ジュニア所属 磯部颯（6年生） 1750円 振込日：1月18日（火）

→管理台帳を回覧にて確認を行った。

市民まつり実行・会議管理部門

1) 退会の報告について

・1月10日付、当部門所属の高橋幸子協力員から会長宛に1月31日付で退会届が郵送で届く。

理由は一身上の理由により退会。

→退会届を回覧にて確認を行った。

Q→第17回理事会にて今後の指導員への理事会参加要請は継続と決まった。また夜間開催ではなく月に1回程度は土日でも良いのではないかの意見があった。

2022年度理事会日程及び指導員参加要請の対象理事会など提案はありますか？

現在の理事会は普及委員会の一部になっている。全理事会へ全指導員出席は負担が大きいと考える。

A→前回、「教室が安定するまでは担当指導員も理事会に出席した頂く事が必要。2回/月を夜間で開催しているが、1回/月は土日の昼間に開催するなど配慮が必要。」とあったので、土日の昼間を入れた理事会日程案を検討・作成し協議事項に入れました。総会日程も関係するので提案する。

2) 総会議案書入力締切りが1月31日（月）までとなっていますのでよろしくお願ひします。

5. 広報委員会

1) 広報委員会開催について

2022年1月26日(水) 19:00～ 中央公民館第2集会室

来年度の水協だより「スイスイ」・水協クイズの計画について

2) 水協HP/スタッフブログを教室会員への展開について

教室会員へ配布用のチラシを作成しました。(資料に保管)

6. 普及委員会 なし

7. 競技委員会

1) 理事会で承認済の備品番号C10096 プリンターA4を2021.12.21 滅却いたしました。

8. 都育成事業特別委員会 なし

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) 2022 東京都新春マスターズ大会参加。

小柴常雄正会員 男子90歳区分 200m個人メドレーで、初記録を樹立。

寺崎・伴正会員、金子会長の3名が参加。HPに掲載した。

2) 2022 マスターズミーティング 2月20日(日)午後3時～ 福社会館予定

議題 2021年活動報告・2022年短水路大会について他

Q→小平マスターズ会員内で正会員年会費未納者が発生している。

正会員の年会費は2021年4月1日規約改定により、「年会費を当該会計年度終了時点で未納の場合は退会とみなす」となっているのでご注意ください。

A→再度、振込をして頂く様依頼する。

11. その他報告事項

1) 第15回理事会残案件

①教室会員カードの管理について

- ・普及委員会保管：成人用104枚 ジュニア用65枚
- ・キャビネット内保管：成人用35枚
- ・2020年1月28日作製のジュニア用400枚

2020年1月18日作製のジュニア用400枚は入会セットと各庶務へ配布した。

入会セット(120枚)はそのままし、各庶務へ配布品は普及委員会で回収していると報告を頂いていたが以下を竹村副委員長から第18回理事会終了後に報告あり。

- ・竹村副委員長 130枚保管
 - ・堀川委員長 95枚保管 (未確認)
 - ・入会セット 120枚
- 合計 345枚 55枚不明

②タッチ板の修理もしくは新規購入の市長宛ての要望書を11月27日(土)に文化スポーツ課へ提出した。

Q→回答は何時頂けますか？

A→本理事会で行政側からの 回答書で説明を行った。基本的な考えは「修理はしない。」

⇒本件は金額によっては水協側で修理あるいは購入の方向もある。

業者から見積書にて金額を明確にする。(担当/堀尾理事)

※市の備品を、水協が修理見積をとり修理することが可能か、文化スポーツ課に問い合わせ中。
(本件担当/金子会長)

③体協決算報告書について

積立金の目的 ⇒ 例えば加盟団体が使用するロッカーの購入等の必要備品購入や、緊急時や臨時の出費に備える。

賛助会費の目的 ⇒ 会の運営に充てるもので、具体的な項目はない。

Q→ロッカー購入等に24,779,673(令和3年3月31日現在)もの金額が必要なのか？

積立金の目的を水協へ指導するのであれば上部団体の体協も使用目的を明確にする必要がある。

また理事会で質問したのは予算額72,785,000円の予算に対して60,028,462円の決算でマイナス12,756,538円にも関わらず200,000円もの積立金を実施している事の回答となっていない。

A→引き続き確認中(担当:金子会長)

B: 協議事項

1. 小平市体育協会関係 なし
2. 東京都水泳協会関係 なし
3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 第16回理事会残案件

① 協会HPのトップページ固定メッセージについて)

2022年度教室案内に変更をしたい。

⇒以下で承認

2022年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などが決まりました。
詳細は以下のトピックスからご覧になれます。

教室会員の皆さまへは、2月中旬には教室案内をお知らせします。

→水協 HP への固定メッセージをラップ東京へ修正依頼（担当/清水運営本部長）

→2022 年度教室案内のお手紙作製（担当/普及委員会委員長代理）

②2022 年水協 HP のスタッフブログ名称について（第 15 回理事会残案件）

2022 年 4 月から教室会員も対象に広げるため、スタッフブログから「ブログ」に名称変更とする。

⇒承認

③スタッフブログを教室会員へ展開について

目的：教室会員へ参画して頂き協会運営に興味を持っていただく

スケジュール：2022 年 2 月教室再開に合わせ広報委員会で作製頂いたチラシ配布及び水協 HP で公開

同時に指導員へ各教室のブログ協力者選出依頼を運営本部/金子会長名で依頼する。

2022 年度引継会議で各指導員へ協力依頼及び各教室会員で教室紹介会員を決めて頂く。

⇒以下文面で承認（配布はメールとする）

タイトル「水協 HP ブログの教室会員への展開について」 対象：成人シルバー教室指導員

首記の件、本日よりスタッフブログのあゆみチラシの配布を宜しくお願い致します。

また、2022 年度から教室会員の皆さまへの参加して頂く事になりました。教室担当の指導員の皆さまはチラシ配布及び水協 HP ブログの紹介と共に、ブログに参加者を募って頂けるようお願い致します。

成人シルバー教室は 11 教室ありますので、1 教室 1 名を 4 月 5 月 6 月教室が終了するまでに選出をお願い致します。

→複数の協力者が得られる教室や、協力者のいない教室もあるかと思えます。強制的にならぬようお願いしたい意見要望あり。

④ 指導員用プールマスク

1. 年間の支給枚数について

⇒今年度使用しての耐久性や、教室指導で忘れた場合には支給済の教室会員用のプール用マスクや個人保管での代用可としているのでキャビネット内に予備品が 1 枚あれば 2021 年度支給済の指導員へ 2022 年度支給はなしとする。2022 年度新たに指導に入る 2 名については予算計上とする。

⇒予備品は既に体育館キャビネット内へ保管してあるので確認する。（担当/金子会長）

⑤ 2022 年度水中ウォーキング教室及び 3 カ月教室日程表について再確認

【2022 年度水中ウォーキング教室日程表】

⇒対象へ「近隣市」を追加で承認。なお第 1 回水中ウォーキング教室市報原稿も修正とする。

水中ウォーキング教室日程表の印刷手配（担当：清水運営本部長）

第 1 回水中ウォーキング教室市報原稿修正及び提出（担当：金子会長）

【2022 年度 3 カ月教室日程表】

⇒以下を修正及び追記して承認

①文面で QR が文字欠けしている。

②応募人数が少ない場合は開催されない事があります。

Q→3 カ月教室の対象には近隣市は入っているが水中ウォーキング教室は対象になっていない理由は？

A→水中ウォーキング教室は対象を広げなくても募集定員確保が出来ていた。今回 Mface からの募集となったことにより応募しにくい事もあるが、指導員庶務が減少していくなかで IT 化は推進していく必要がある

2) 2022 年度予算書について ⇒継続審議

①2022 年度の教室規模

②市町村総体への参加の有無

→2022年度の市町村総体は参加を前提としています。前回理事会での提案は、将来的（2、3年以内）に小平水協としての意思決定（今後も参加する、参加を辞める）が必要との提案です

③記録会及び市民水泳競技大会の報償費見直し

※2022年度の教室規模が決定したが、教室会員が教室開催の最低人数集まる事を前提である。
前回の理事会で説明したが教室収入のプラス180万で各委員会の支出合計が約70万である。
ザックリプラス予算にはなるが、教室収入にはマイナスの係数をかけていないが差額が繰越金となる。
コロナの影響で積立金を取り崩している。この全体バランスも含め議論を頂きたい、
また冒頭及び前回の理事会でも発言しているが、**将来の協会運営・教室運営**をどの様にしていくのかのビジョンをお聞きしたい。

3) 2021年度基本方針のPDCAについて ⇒継続審議 本議事録公開時はタイトルのみ

基本方針の重要事項について3カ月毎にチェックを行う。
step1→4月～6月 step2→7月～9月 step3→10月～12月 step4→1月～3月
※2022年度総会にて2021年度総括

4) 2月3月教室再開に伴い広宣活動

- ①プール入口庶務机へのチラシポケット設置許可について
- ②配布チラシ
 - ・2022年度教室日程
 - ・2022年度水中ウォーキング教室日程
 - ・水協HP/スタッフブログを教室会員への展開チラシ（広報委員会作製）

⇒①は金子会長が確認中。②は提案チラシで承認

市民まつり実行・会議管理部門

1) 土日の昼間を考慮した2022年度理事会日程及び2023年度総会候補案 ⇒継続審議 2021年度開催日を参考、土日は午後を予定、連休をできるだけ避けて提案

【理事会日程案】

4/7（木）既定、4/23（土）、5/12（木）、5/19（木）又は5/21（土）、6/2（木）、6/18（土）、7/2（土）
7/16（土）、7/28（木）、8/6（土）、8/21（日）、8/27（土）昨年度は指導員全体会議、9/1（木）、9/15（木）
10/1（土）、10/20（木）、11/5（土）、11/17（木）、12/1（木）、12/17（土）、1/5（木）、1/21（土）
2/2（木）、2/18（土）、3/2（木）、3/18（土）、4/6（木）

→2022年4月7日（日）は2021年度扱い（第23回理事会）

→土曜日は全て指導員出席対象としますか？

来年度は3カ月教室ですので、教室開催していない月と開催中の最終月程度で良いと思います。
本来は理事会前に普及委員会を開催が基本と考える。

【総会日程案】

総会日程第1案4/22（土）、第2案4/16（日）

5. 広報委員会

- 1) 水協HP/スタッフブログを教室会員への展開について
教室会員へ配布用のチラシを作成しました。（資料に保管）
承認を頂けましたら広報委員会にて印刷発注を行います。

⇒承認

6. 普及委員会

- 1) 2022年度プール利用申請及びプール料金支払いについて
現在のルールは三役で対応となっているが、申請だけなら普及委員会等で対応が可能ではないか？
2022年度教室の申請及び支払いは以下となっている。

	申請	支払い
4.5.6月教室 第1回・2回水中ウォーキング教室	2月	3月
9.10.11月教室 第3回・4回水中ウォーキング教室	7月	8月
1.2.3月教室 第5回水中ウォーキング教室	11月	12月

⇒現在のルールは申請や三役・支払いは金子会長となっている。
普及委員会委員長代理と新メンバーで役割分担を決めて申請とする。

2) 2022年度3か月教室 指導員体制について(資料添付:金子会長)
別紙体制表1月17日案を提案する。

⇒提案資料で承認

Q1→2022年度指導員体制表は教室会員などへ開示しますか？

A1→以下を修正して清水運営本部長へ提出後に2か月教室再開に合わせて水協HPのみで公開とする。

- ①1月17日案削除
- ②開催時間は3か月教室日程表を合わせる。

Q2→ピンチヒッターで交代する場合はどの様にすれば良いか？

A2→ピンチヒッターは賠償保険加入してのので、2022年度登録指導員を基本とする。

- 1 1か月以上の交代で2022年度登録者から選出出来ない場合は早急に普及委員会へ連絡とする。
 - 1 1か月以上の交代の場合は理事会報告がルールとなっています。
- また、報償費の源泉徴収野関係もあるので必ず、清水運営本部長まで報告をお願いします。

3) 第16回理事会残案件

①ホームページにて正会員(ボランティアスタッフ)の募集掲載について

⇒継続審議

② 2022年度の普及委員会体制について

私の仕事の都合(2022年4月～)により、委員会活動に支障が出る可能性があります。

1. 委員長代理の擁立
2. 実際に指導に入る指導員から委員を擁立

※ 金子会長より下記を提案

1. 委員長代理を理事会関係者から選出。
2. 普及委員会に、新たに委員又は協力員を募る。
募集については、委員長代理に一任し、理事会にて決定する。

⇒委員長代理は金子会長で承認

委員又は協力員は2022年度指導員全員を対象とし、第19回理事会(2/3)にて報告する。

Q1→2022年度4月からの提案であるが、現時点で普及委員会として支障が出ている。

今回の提案は委員長が復帰までの提案なのか？普及委員会を再構築する事への提案なのか？
説明を頂きたい。

A1→委員長代理は今回の理事会で決定し、委員及び協力員については2月の理事会にて決定したい。いずれも2022年度の教室運営に関わる全てを担当する。なお、経理については、引き続き運営本部で行って頂きたい。委員長の復帰までの臨時的対応である。

Q2→会長提案は、一次的な対策である。今後の教室運営をどの様にするかの議論が必要である。

2月理事会は2021年度指導員が全員参集するので意見をお聞きするとともに、理事会としての方向性は決める必要がある。

A2→継続審議

Q3→教室会費振替など処理は今までの運営本部で対応していたので問題ありません。

一番問題なのは教室会員からの問い合わせに対して対応者が明確でない事です。また普及委員会の事務処理の責任者が明確でない事が、現在の普及委員会の支障が出てきている事です。この事を会長提案は具体

的に展開して頂きたい。

A3→教室会費振替など処理以外は、責任者の普及委員長代理が努めます。

Q4→Q1 で指摘しているが現時点で普及委員会として支障が出ている。

2021 年度の事業について（2 か月教室及び、電子同意書回収など）は誰がやるのか責任を明確にして頂きたい。

A4→金子委員長代理で行います。

4) 2022 年 3 月 5 日市報について(資料添付:金子)

市民水泳教室ジュニア・成人・シルバー・夜間 3 か月教室原稿 1 月 26 日締め切り

追加募集のため、4.5.6 月の 3 か月教室だけの募集としたい。

参加費用については、3 か月分一括納入とする。(教室会員は、振替)

⇒提出資料で承認 以下の Q&A は継続審議

Q→欠員募集者への口座振替や顧客番号導入など正会員へのメリットはどの様に展開しますか？

A→3 か月教室は、2022 年度の特例な教室です。次回の 3 か月教室の欠員募集案内程度のサービスが考えられます。

7. 競技委員会

1) 記録会及び市民水泳競技大会の報償費見直し ⇒継続審議

①記録会：当日は無償から一人 1,000 円へ変更。前日準備は 1,000 円に変更なし（対象は競技委員、会長）

②市民大会：当日は一人 3,000 円から 1,500 円へ変更。前日準備は競技委員終日で 1,000 円、協力員は午前中で 500 円の変更なし。

8. 都育成事業特別委員会

1) 第 16 回理事会残案件 ⇒継続審議

① 第 12 回理事会残案件 スタッフブログへの対応についての提案

2021 年 9 月以降のスタッフブログについて（第 11 回理事会より継続案件）

2022 年 2 月担当の都育成事業特別委員会担当者より SD カードを郵送する時に担当不可の連絡があった。

都育成事業内で担当者を決めて次回理事会にて報告と第 11 回理事会で決まった。

【第 11 回理事会決定事項】

スタッフブログは、各担当委員会の輪番制や、教室会員へ展開する為に、教室に入る指導員には担当するなど、理事会でルールを決めている事である。

ルールを変えるのであるのであれば提案をして頂きたい。

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) チーム参加費について ⇒継続審議

第 17 回理事会で、一大会 1,000 円が多く、年間 5 大会、5,000 円を計上で決済を受けた。

チーム参加費の補助する参加最低人数を決めて頂きたい。

⇒ チーム参加費は、その名のとおりチームに対しての経費です。参加人数に関わらず、支出したい。

なお、同様な参加費に、個人参加費もあるが、これはエントリーした個人にかかるもので、個人が支払うものといえます。

2) 水協ポロシャツなどの取扱い ⇒継続審議

Q→水協として団体登録料は負担している。今までも各大会に参加している場合にチームエントリー料が発生しているのであれば、その負担は個人負担ですか？

過去の参加状況を確認すると少ないと 3 名程度で多くても 7~8 名程度である。

マスターズ登録者が小平市水泳協会の人材確保及び協会運営にも繋がる事を意識してマスターズ特別委員会が運営するのであれば、各大会の参加費負担も高額とは思えない。

しかし、デガネには厳しくチェックして頂きたい。

例えば、マスターズは黄色の T シャツを着て参加しているが、伴さんはキャラクター入りのポロシャツを現

金購入している。小柴さんへは無料支給済。黄色Tシャツは貸与であればクリーニング代もその都度発生する。キャラクター入りポロシャツで統一して頂きたい。新規加入の方には購入をお願いしたい。また大会ごとに協会旗を持参やブログへの協力など協会運営への協力体制も不可欠である。

A→黄色のTシャツは、ポロシャツを作成した段階で、マスターズ委員会が預かっていて大会で着用している。正会員には貸与していて、各自管理している。都民生涯スポーツ大会時のみ、一般市民からの参加者には当日回収してクリーニングしている。今後もこのスタンスで行いたい。
マスターズ大会に参加するために入会した今回の4名の正会員へのポロシャツの購入については、入会目的から購入していただくことは、適切でないと思われる。
⇒期限を決めてポロシャツへの移行を推進して頂きたい。協会旗の持参やブログ協力への発言も頂きたい。
A→ポロシャツは前述のとおり、協会旗はその都度お願いしています。ブログについては、無理のない程度にお願いしてみます。

11. その他協議事項

1) 第16回理事会残案件 ⇒継続審議

1. 指導員確保について（第11回理事会残案件）

【第11回理事会決定事項及び意見要望】

意見要望を収集し以下の①②がハードルを高くしている原因である。
今後は①②とも必要条件としない。詳細は継続審議とする。

①指導員資格 ②正会員

3. 2021年度理事会には以下日程で指導員へ出席要請を行うので、普及委員会からのお聞きしたいテーマは事前にお知らせする。

※次回以降の理事会は以下で出席要請となっている。

普及委員会からお聞きしたいテーマを配信して頂きたい。

※競技委員会/権田委員からの回答を頂いていない。

4. 河野副会長提案について

第11回理事会から「指導員の確保」をテーマとして継続審議している。正会員の年齢構成から短期・中期・長期で協会・教室運営のあるべき姿を明確にする必要がある。

短期⇒協会：現在の委員、協力員で運営出来る体制の維持

教室：現在の指導員で運営出来る体制、方法を構築する

教室会員数（1レーン、1教室）、指導員体制、庶務員の有無等

中期⇒協会：委員会を超えた協力体制の確立

正会員を増やす仕組みを考える、何故正会員が増えないのか？原因を考えて対策をする

教室：外部指導員を誘致する方法を確立する、どこに働きかけるのか？

外部指導員の評価法、定着してもらうには何が必要か？

長期⇒協会：効率的な運営方法の構築、少人数での事業運営（記録会、市民大会）

教室：効率的な運営方法の構築

IT化を100%にする、ネット、メールでの事務処理が必要

※短期である正会員になって頂く短期目標について具体的な展開が必要の為、協議頂きたい。
正会員になって頂く事を最優先にし、教室会員が正会員になるメリットを明確にする。

①入会優先 ②会費の割引 ③個人への情報提供

【清水運営本部長からの提案事項】

提案は賛成ですが、今回の2月3月欠員募集の事務処理をして、提案を展開するには以下は必須と感じます。

①顧客番号 ⇒ 検索がしやすくなる。

②教室会費など振替口座登録 ⇒ 教室会員が振込にいかなくても処理できる。

③メールアドレスの登録 ⇒ 連絡手段の迅速化と効率化